

②地域福祉の推進役としての地域住民への調査（案）

大阪市では、平成 30 年 3 月に「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念とした大阪市地域福祉基本計画を策定しました。多様な人々が暮らし、働き、学び、訪れる地域で、だれもが自分らしく安心して生活していくために、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていくという「地域福祉」の考えに基づく取り組みを進めています。

この調査は、「地域福祉」について、みなさまのご意見をお聞きして、今後の施策の参考にするものです。どうか、日頃のお考えを率直にお聞かせください。

※あなたのお考えに近い答えがないときや、答えられないとき、あるいは、答えたくないときは、空白のままで結構です。

【だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて】

質問 1. いまお住まいの地域について「暮らしやすい」と感じていますか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 感じる
- ☐ 2. ある程度感じる
- ☐ 3. あまり感じない
- ☐ 4. 感じない

〔質問 1 で「1. 感じる」「2. ある程度感じる」と答えた方にお聞きます。〕

質問 1 - 1. あなたは、お住まいの地域のどのような点に「暮らしやすさ」を感じていますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近くに家族、親類がいる点
- ☐ 2. 近所付き合いや地域とのつながりがある点
- ☐ 3. 地域活動やボランティア活動が活発な点
- ☐ 4. 福祉や医療サービスが充実している点
- ☐ 5. 買い物や通勤・通学など日常生活が便利な点
- ☐ 6. 静けさや緑が多いなど、環境がよい点
- ☐ 7. 治安がよいなど、安心して住める点
- ☐ 8. 公共施設や道路のバリアフリーが進んでいる点
- ☐ 9. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実している点
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：_____）

質問 2. お住まいの地域がより暮らしやすい地域であるために、どのようなことが必要だと思いますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近くに家族、親類がいること
- ☐ 2. 近所付き合いや地域とのつながりがあること
- ☐ 3. 地域活動やボランティア活動が活発であること
- ☐ 4. 福祉や医療サービスが充実していること
- ☐ 5. 買い物や通勤・通学など日常生活が便利であること

- ☐ 6. 静けさや緑が多いなどの環境がよいこと
- ☐ 7. 治安がよく安心して住めること
- ☐ 8. 公共施設や道路のバリアフリー化が進むこと
- ☐ 9. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実すること
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください： _____）
- ☐ 11. わからない

【地域での支え合い・助け合いについて】

質問 3. 現在、生活している中で地域との「つながり」を感じることがありますか。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. たまにある
- ☐ 3. あまりない
- ☐ 4. ない

〔質問 3 で「 1. ある」「 2. たまにある」と答えた方にお聞きます。〕

質問 3 - 1. 地域との「つながり」を感じるのはどのようなときですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近所の人とあいさつをするとき
- ☐ 2. 近所の人とお土産やいただきものをやりとりするとき
- ☐ 3. 近所の人に日常の見守りや声かけをされたとき
- ☐ 4. 地域の人に困りごとなどの相談をする（相談にのる）とき
- ☐ 5. お祭りなどの地域の行事に参加するとき
- ☐ 6. 地域活動やボランティア活動に参加するとき
- ☐ 7. その他（具体的にお書きください： _____）

質問 4. どのようにすれば、地域でお住まいの方が地域の「つながり」を実感することができるようになると思いますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近隣の住民同士で普段からあいさつや声かけをする
- ☐ 2. お祭りなどの地域の行事等に参加する
- ☐ 3. 地域福祉活動やボランティア活動に参加する
- ☐ 4. 広報誌などで「つながり」の重要性を周知する
- ☐ 5. 地域福祉の推進役などが普段の困りごとの相談にのる
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい： _____）
- ☐ 7. わからない

【地域福祉活動について】

質問 5. 地域福祉活動の担い手として活動をはじめたきっかけは何ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 友人・知人に誘われたから
- ☐ 2. 活動場所が近所にあったから

- ☐ 3. 内容が楽しそうだったから
- ☐ 4. 健康に良さそうだったから
- ☐ 5. 団体の中に自分の役割があるから
- ☐ 6. 生きがいを得たかったから
- ☐ 7. 地域や社会に貢献したかったから
- ☐ 8. 人と関わりを持ちたかったから
- ☐ 9. 自分の経験・能力を生かすことができると思ったから
- ☐ 10. その他（具体的にお書き下さい：.....）

質問 6. 地域福祉活動の担い手として活動を続けている理由は何ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 活動にやりがいがあるから
- ☐ 2. 自身の健康のため
- ☐ 3. 地域や社会に貢献し続けたいから
- ☐ 4. 人との関わりを持ち続けたいから
- ☐ 5. やめると迷惑がかかるから
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 7. 特に理由はない

質問 7. 地域福祉活動の担い手として活動するにあたって、どのようなことを負担に思われますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 時間が取られること
- ☐ 2. 体力を使うこと
- ☐ 3. 活動内容について相談できる人（機関）がいないこと
- ☐ 4. 一緒に活動する仲間が少ないこと
- ☐ 5. 人間関係が難しいこと
- ☐ 6. 責任が重いこと
- ☐ 7. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 8. 特にない

質問 8. 活動されている地域で、どのような地域福祉活動が求められていると感じていますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 日常の見守り活動
- ☐ 2. こどもを支援する活動（こども食堂やこどもの学習支援など）
- ☐ 3. 子育てを支援する活動
- ☐ 4. 高齢者を支援する活動
- ☐ 5. 障がいのある方を支援する活動
- ☐ 6. 地域防災及び防犯などに関する活動
- ☐ 7. 地域の高齢者とこどもとの世代間交流活動
- ☐ 8. その他（具体的にお書き下さい：.....）

☐ 9. わからない

質問 9. 地域福祉活動が抱える一番の課題は何だと思いますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。

(回答は1つ)

- ☐ 1. 活動の担い手不足（担い手の高齢化を含む）
- ☐ 2. 活動場所の不足
- ☐ 3. 活動資金の不足
- ☐ 4. 地域福祉活動の担い手を支える福祉専門職の人材不足
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 6. わからない

【住民主体の地域課題の解決力強化について】

質問 10. あなたが活動されている地域において、地域福祉活動を通じて発見された地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向けて取り組む体制が整っていると感じますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 整っている
- ☐ 2. ある程度整っている
- ☐ 3. 整っていない
- ☐ 4. わからない

質問 11. 地域課題やニーズについて、地域全体で解決に向けて取り組む体制を整えていくためには何が必要であると考えますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 活動の担い手の養成
- ☐ 2. 活動場所
- ☐ 3. 活動資金
- ☐ 4. 社会福祉協議会など福祉専門職による支援
- ☐ 5. 行政による支援
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 7. わからない

質問 12. あなたが知っている、地域福祉活動への支援をおこなっている福祉専門職は次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 区社会福祉協議会の地域支援担当職員
- ☐ 2. 見守り相談室 CSW（見守り相談員）
- ☐ 3. 生活支援コーディネーター
- ☐ 4. 地域包括支援センターなど相談支援機関の職員
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 7. わからない

質問 13. あなたが活動されている地域における、区社会福祉協議会の地域支援担当職員などの福祉専門職による支援の状況について、あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 十分におこなわれている
- ☐ 2. 支援はおこなわれているが、十分ではない
- ☐ 3. ほとんど支援がおこなわれていない
- ☐ 4. 支援がおこなわれていない
- ☐ 5. わからない

質問 14. あなたが福祉専門職による地域福祉活動への支援に期待することは何ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 団体や活動者に対する地域福祉活動にかかる助言
- ☐ 2. 活動者を対象とした会議や研修などの開催
- ☐ 3. 地域課題を解決するための会議への参画
- ☐ 4. 新たな活動の立ち上げ支援
- ☐ 5. 広報啓発活動への支援
- ☐ 6. 地域福祉活動の担い手の養成への支援
- ☐ 7. 地域資源の開発
- ☐ 8. 活動継続への後方支援
- ☐ 9. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 10. 特になし

【地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進】

質問 15. 地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除いて、あなたの地域において地域福祉活動に参画している主体は次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 地域にあるボランティア団体やNPO法人
- ☐ 2. 地域にある社会福祉法人（社会福祉施設等）
- ☐ 3. 地域にある企業や個人事業主
- ☐ 4. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 5. 特になし
- ☐ 6. 知らない

質問 16. 地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除く主体が実施する地域福祉活動に期待することは次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 専門性（知識やノウハウ）を活かした活動
- ☐ 2. 豊富な人材を活かした活動
- ☐ 3. 資金協力（行事への協賛など）
- ☐ 4. 継続的な参画
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）

☐ 6. 特にない

質問 17. あなたが地域福祉活動をおこなううえで、どのような社会資源を活用したいと考えていますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 町会・地域社協などの地縁団体
- ☐ 2. 地域にあるボランティア団体やNPO法人
- ☐ 3. 地域にある社会福祉法人（社会福祉施設等）
- ☐ 4. 地域にある企業や個人事業主
- ☐ 5. 地域にいる専門的なスキルを有する人材
- ☐ 6. 市内の大学や専門学校などに通う学生
- ☐ 7. 地域にある地域集会施設やコミュニティ施設
- ☐ 8. 空き家や空き店舗
- ☐ 9. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 10. 特にない

質問 18. 地域にある社会資源を活用しやすくするには何が必要と考えますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 地域にある社会資源の情報
- ☐ 2. 人材の交流の場
- ☐ 3. 活用に要する手続きの簡素化
- ☐ 4. 活用に要する費用の低廉化
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 6. わからない

【災害への備えについて】

質問 19. お住いの地域で、避難や救助が必要となる災害が発生した場合、高齢者や障がいのある方など避難の支援や生活上の配慮が必要となる人を知っていますか。

- ☐ 1. 知っている
- ☐ 2. 知らない

質問 20. 大規模な災害が発生すると、消防、警察、自衛隊などによる救援が行き渡ることが極めて難しくなり、地域の住民同士で、救助活動や避難所の運営を行うことが求められます。このような場合に備えて、普段からどのようなことが必要であると思いますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近所の人とあいさつをする程度に関係はつくっておくこと
- ☐ 2. 避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと
- ☐ 3. 住民同士で互いの家庭状況（家族構成・介護の必要等）についてある程度知っておくこと
- ☐ 4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
- ☐ 5. ハザードマップ等で地域の危険な場所を知っておくこと
- ☐ 6. 地域の災害時避難所を知っておくこと

- ☐ 7. 避難勧告・避難指示（緊急）などの意味を知っておくこと
- ☐ 8. 防災訓練に参加すること
- ☐ 9. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 10. わからない

質問 21. 防災に関する次の取り組みのうち、ご存知のものはどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 大阪市地域防災計画
（自然災害に対して大阪市域で行政や事業者、住民の方が取り組むことを定めた計画）
- ☐ 2. 区地域防災計画
（お住まいの区において区役所や事業者、住民の方が取り組むことを定めた防災計画）
- ☐ 3. 地区防災計画（お住まいの地域において住民の方を中心に取り組むことを定めた計画）
- ☐ 4. 市民防災マニュアル（保存版）（平成 27 年春に全戸配布した防災啓発冊子）
- ☐ 5. 水害ハザードマップ
（津波や河川洪水により浸水が予想される場所・深さを示した各区分マップ）
- ☐ 6. 避難行動要支援者名簿【区によって呼び方が異なる】（大地震や風水害などの災害が起きた時、自力で避難することが難しく、支援が必要な方の名簿。災害時における救出・救護に活用）
- ☐ 7. 福祉避難所（災害時において、高齢者や障がいのある方など、一般の避難所生活において特別な配慮を必要とする方々を対象に開設される避難所）
- ☐ 8. 津波避難ビル・水害時避難ビル（津波や河川氾濫から身を守るために避難するビル）
- ☐ 9. 大規模災害時協力事業所（地震・風水害等の大規模災害が発生した際に、災害対策に協力いただくことのできる企業・事業所）
- ☐ 10. 自主防災組織（防災という共通の目的をもって活動する地域の皆さんの集まり）
- ☐ 11. すべて知らない

【地域における見守り活動について】

質問 22. 大阪市では、民生委員・児童委員による訪問活動や、ボランティアによる児童の登下校の見守り、老人クラブなどの地域住民による友愛訪問、災害時の要援護者名簿を活用した地域での見守り活動などがおこなわれていますが、あなたは地域で行われている見守り活動の一番の課題は何であると考えますか。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 見守りの対象となる世帯の増加
- ☐ 2. 地縁関係の希薄化
- ☐ 3. 担い手の不足（担い手の高齢化）
- ☐ 4. 見守り活動の認知不足
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 6. わからない

【相談支援体制の充実に向けて】

質問 23. 地域の人から困りごとなどの相談を受けたことはありますか。また、その頻度はどれくらいですか。あなたの状況に近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. ある（ほぼ毎日）
- ☐ 2. ある（週に数回程度）
- ☐ 3. ある（月に数回程度）
- ☐ 4. ある（年に数回程度）
- ☐ 5. ない

【質問 23 で（1～4. ある）と答えた人にお聞きます】

質問 23－1. 地域においてどのような相談を受けることが多いですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 本人や家族の健康のこと
- ☐ 2. 日常生活のこと（食事づくりや買い物など）
- ☐ 3. 本人や家族の老後のこと
- ☐ 4. 子育てのこと
- ☐ 5. こどもや孫の将来のこと
- ☐ 6. 家族の人間関係のこと
- ☐ 7. 地域での人間関係のこと
- ☐ 8. 収入のこと（給料や年金など）
- ☐ 9. 仕事のこと（就職など）
- ☐ 10. 生活費のこと（家賃や公共料金のことを含む）
- ☐ 11. 土地や家屋、預貯金などの管理のこと
- ☐ 12. 地域の治安のこと
- ☐ 13. 地域の生活環境のこと
- ☐ 14. 地震や洪水などの災害のこと
- ☐ 15. 社会の仕組み（法律、年金や健康保険など）が変わること
- ☐ 16. その他（具体的にお書き下さい：_____）

質問 24. 生活に困りごとを抱えた方に向けて、生活保護に至る前の早い段階から支援をおこなう窓口（生活困窮者自立相談支援窓口）が各区役所に設置されていることを、ご存知ですか。（回答は1つ）

- ☐ 1. 知っていて、誰かに紹介したことがある
- ☐ 2. 知っているが、誰かに紹介したことはない
- ☐ 3. 聞いたことはあるが、何をしているか具体的には分からない
- ☐ 4. 知らない

質問 25. 地域の方から相談を受けた際によくつなぐ機関はどこですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 区役所（区保健福祉センター）
- ☐ 2. 区社会福祉協議会

- ☐ 3. 見守り相談室
- ☐ 4. 地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センターなどの相談支援機関
- ☐ 5. 病院
- ☐ 6. 警察
- ☐ 7. 生活困窮者自立相談支援窓口
※各区で名称が異なります（例：生活自立相談窓口、くらしサポートセンターなど）
- ☐ 8. その他（具体的にお書き下さい：_____）

【虐待防止の取り組みについて】

質問 26. 高齢者や障がいのある方、児童への虐待の疑いがある状況を発見した場合、通報（通告）しますか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 必ず通報（通告）する
- ☐ 2. 場合によっては通報（通告）する
- ☐ 3. 通報（通告）しない

質問 27. 虐待を通報（通告）する場合、どのような通報（通告）先をご存知ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 区役所（区保健福祉センター）
- ☐ 2. 地域包括支援センター
- ☐ 3. 総合相談窓口（ランチ）
- ☐ 4. 障がい者基幹相談支援センター
- ☐ 5. 189（児童相談所全国共通ダイヤル）
- ☐ 6. 児童虐待ホットライン
- ☐ 7. こども相談センター
- ☐ 8. 大阪市福祉局高齢者施策部介護保険課指定・指導グループ（施設職員等による高齢者虐待）
- ☐ 9. 大阪市福祉局障がい者施策部障がい福祉課（施設職員等による障がい者虐待）
- ☐ 10. 大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課（雇用主等による障がい者虐待）
- ☐ 11. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 12. 知っている通報（通告）先はない

質問 28. 虐待の通報（通告）をためらうとすれば、どのような理由からですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 虐待ではないかもしれないから（虐待の証拠がないから）
- ☐ 2. 通報（通告）したことを相手に恨まれるかもしれないから
- ☐ 3. 誰が通報（通告）したか相手に知られるかもしれないから
- ☐ 4. 面倒に巻き込まれたくないから
- ☐ 5. 誤って通報（通告）した場合、相手がショックを受けるなど悪影響をおよぼすおそれがあるから
- ☐ 6. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 7. 理由は特にない

【成年後見制度等の利用促進に向けて】

- 「成年後見制度」とは、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、法的に権限を与えられた成年後見人等が、本人に代わって福祉サービスの利用契約や適切な財産管理をおこなうことで、その方の生活を支援する制度です。中には、「法定後見（判断能力の低下に応じて利用する）」と、「任意後見（将来の判断能力の低下に備えてあらかじめ契約しておく）」の二つの制度があります。
- 「市民後見人」とは、家庭裁判所から成年後見人等として選任された一般市民のことです。専門組織による養成・支援を受けながら、地域福祉の視点から身近な市民という立場で後見活動を展開する権利擁護の担い手です。
- 「あんしんさぽーと事業」とは、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活が送れるよう、本人との契約に基づき、お住まいの区の社会福祉協議会において、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理をお手伝いする事業です。

質問 29. 次のうち、あなたが以前からご存知だった制度等はどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 法定後見制度
- ☐ 2. 任意後見制度
- ☐ 3. あんしんさぽーと事業
- ☐ 4. 市民後見人
- ☐ 5. 知っている制度等はない

質問 30. 地域の方から判断能力の低下に関する相談をされたときのつなぎ先はどこですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 大阪市成年後見支援センター
- ☐ 2. 区役所（区保健福祉センター）
- ☐ 3. 区社会福祉協議会
- ☐ 4. 地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）
- ☐ 5. 障がい者基幹相談支援センターまたは地域活動支援センター（生活支援型）
- ☐ 6. わからない

【あなたご自身のことについて】

〔ご協力ありがとうございました。今までお聞きしたことを整理するために、あなたご自身のことなどをおきかせください。〕

A. あなたの性別について、あてはまるものに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 男性 ☐ 2. 女性 ☐ 3. その他、または、答えたくない

B. あなたの年齢について、あてはまるものに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 10 歳代 ☐ 2. 20 歳代 ☐ 3. 30 歳代
- ☐ 4. 40 歳代 ☐ 5. 50 歳代 ☐ 6. 60 歳代
- ☐ 7. 70 歳代 ☐ 8. 80 歳以上

C. あなたの職業について、いちばん近いと思われるものに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 会社員（団体職員）

- ☐ 2. 自営業
- ☐ 3. 公務員
- ☐ 4. パート、アルバイト
- ☐ 5. 学生
- ☐ 6. 専業主婦、主夫
- ☐ 7. 無職
- ☐ 8. その他（具体的にお書きください：_____）

D. あなたがお住まいの区に✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 1. 北区 | ☐ 2. 都島区 | ☐ 3. 福島区 | ☐ 4. 此花区 |
| ☐ 5. 中央区 | ☐ 6. 西区 | ☐ 7. 港区 | ☐ 8. 大正区 |
| ☐ 9. 天王寺区 | ☐ 10. 浪速区 | ☐ 11. 西淀川区 | ☐ 12. 淀川区 |
| ☐ 13. 東淀川区 | ☐ 14. 東成区 | ☐ 15. 生野区 | ☐ 16. 旭区 |
| ☐ 17. 城東区 | ☐ 18. 鶴見区 | ☐ 19. 阿倍野区 | ☐ 20. 住之江区 |
| ☐ 21. 住吉区 | ☐ 22. 東住吉区 | ☐ 23. 平野区 | ☐ 24. 西成区 |

E. 現在のお住まいでの居住期間について、あてはまるものに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 1 年未満
- ☐ 2. 1 年～5 年未満
- ☐ 3. 5 年～10 年未満
- ☐ 4. 10 年以上

F. あなたがお住まいの地域で担っておられる役割は何ですか。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 民生委員・児童委員
- ☐ 2. 地域福祉コーディネーター

※区ごとに名称が異なります（例：ネットワーク推進員、見守り推進員、地域支援相談員など）

G. 上記質問でお答えいただいた役割は通算でおおよそどれくらい務めておられますか。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 1 年未満
- ☐ 2. 1 年以上 5 年未満
- ☐ 3. 5 年以上 10 年未満
- ☐ 4. 10 年以上 20 年未満
- ☐ 5. 20 年以上

大変お手数をおかけしました。
同封の封筒に入れて、ご返送ください。
ご協力ありがとうございました。